

神歯国保
JINSIKOKUHO

平成22年度事業報告・決算など承認 第148回通常組合会開催される

平成22年度事業、歳入歳出
決算等の認定を審議する第148
回通常組合会が、7月23日
(土)午後2時から神奈川県
た組合会は、横山事務長の点



平成22年度事業報告・決算などが審議された組合会

呼に続き、大川理事により開
会の挨拶がなされた。

続いて、原副議長により組
合会議長あいさつがなされ、
議事録署名人の選出が行わ
れ、西支部武内春男議員、茅ヶ
崎支部高橋韶光議員が選出さ
れた。

続いて、小澤理事長より理
事長あいさつ(別掲)がなさ
れた。

続いて報告事項に入り、庶
務報告を田島常務理事、会計
報告が森田常務理事より説明
され議案審議に入った。

第1号議案 神奈川県歯科医
師国民健康保険組合規約
の一部改正(案)について
議決を求める件

本郷副理事長より、特定療
養費制度の廃止に伴い、条文
の整備を行いたく、規約の一
部を改正したい旨の説明
がなされ、採決の結果、可決
承認された。

第2号議案 神奈川県歯科医
師国民健康保険組合職員
退職積立金の取り崩しの
専決処分について承認を

求める件

第3号議案 神奈川県歯科医
師国民健康保険組合歳入
歳出予算補正の専決処分
について承認を求める件

以上2議案が関連議案につ
き一括上程され、西野理事に
より、職員の退職に伴い、職
員退職積立金の取り崩し及び
早急に予算の補正を行う必要
が生じたことについて専決処
分を行った旨の説明がなさ
れ、採決の結果、各議案とも
可決承認された。

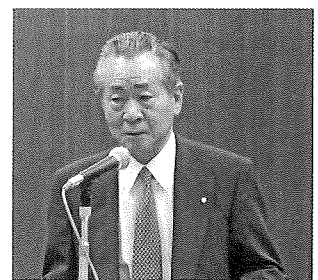
第4号議案 平成22年度神奈
川県歯科医師国民健康保
険組合事業報告の認定に
関する議決を求める件

第5号議案 平成22年度神奈
川県歯科医師国民健康保
険組合歳入歳出決算の認
定に関する議決を求める
件

以上2議案が関連議案につ
き一括上程され、小澤理事長、
田島常務理事より事業の内容
について、森田常務理事より
歳入歳出決算についての詳細
な説明がなされ、花村監事よ
り監事監査報告があり、採決
の結果、各議案とも可決承認
された。

以上で全日程を終了し、五
十川理事の閉会の挨拶で閉
会・散会した。

【理事長あいさつ】



小澤 政 理事長

本年は国民皆保険制度が確
立いたしましたから満50年を
迎えることとなります。皆様
ご承知のとおり、我が国の医
療保険制度は国民健康保険制
度、被用者保険制度の2つに
分かれています。ところでござ
います。全ての国民がいずれか
の制度の中で医療が受けられ
るようになっております。現
行の社会保険制度の基本的枠
組みが作られた50年前と比べ
まして今は、社会経済情勢が
大きく変化し、高齢者医療費
の増加、医療技術の進歩に伴
う医療費の増加、それと低所
得者層の増加ということなど
で国民健康保険が疲弊してい
る状況でございます。そのよ
うな中、社会保障の原点に立
ち返り安定財源としての消費
税収を主たる財源とした「社
会保障と税の一体改革案」
が今月(7月)1日に閣議報
告されております。その中で

国保制度に関する見直しは、
低所得者の保険料軽減や非正
規労働者への健康保険の適用
拡大、高額療養費の拡充、外
来受診時に1000円の定額負
担制度の導入などがございま
して、さらには所得水準が高
い国保組合の定率補助削減な
どを柱とした国民健康保険法
等の一部改正案が提出される
準備がされているところでご
ざいます。国保組合に対する
定率補助削減の問題は本日の
事業報告の中にも取り入れて
ありますけれども、関係方面
で善処されるようこちらで働
きかけているところでござい
ます。この度の組合会は平成22
年度の事業報告及び決算の認
定に係る内容でございます。
決算上の差引残額は6億2、
049万円余りでございまし
て、23年度に予定しておりま
す繰越金予算を9、049万
円上回ることとなりまして、
とりあえず23年度も安定した
給付が保証できる見込みと
なっております。議案書の内
容につきましては私ども役員
が詳しく説明をさせていただ
きますが、今後についての建
設的なご意見、ご提言などご
ざいましたらご遠慮なくご発
言いただければ幸いです。ご
ます。